

提出順	16	発言順	16	令和 元 年 8 月 27 日
				午前・午後 11 時 28 分受領

(3 枚中No. /)

令和 1 年 8 月 27 日

安曇野市議会議員 小松 洋一郎 様

安曇野市議会議員 白井 泰彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 1 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	20 分
答弁を求める者	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☒ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 財政部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光部 ☐ 都市建設部 ☐ 上下水道部 ☒ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	学校給食センターについて		

質問の要旨（具体的に記載してください）

- 1 市長は、5 月の定例記者会見で、堀金学校給食センターの廃止についての記者の質問に対して、「一市一制度が当然望ましいのではないかと答えている。こ意味を伺う。
- 2 6 月定例会での白井の一般質問に関わって
 - (1) 白井は、「堀金の学校給食の歴史は、子どもにとって最善の自校方式を大切にしてきた歴史であり、堀金地域の給食文化となっている。その歴史と文化を尊重するならば、堀金学校給食センターの廃止案は撤回すべき」と述べた。他の 3 センターについても、旧町村における給食センターの歴史と合併後の議論の上に建設された経過があり、それらを尊重すべきと考える。4 センターの旧町村以来の歴史、現在のセンター建設に至る議論の経過はどのようなものか。また、それをどのようにとらえているか。
 - (2) 教育長は、「5 月に開催した学校給食センター市民説明会において市民から出された質問、意見を踏まえ、データー等をそろえる中で改めて市民説明会を開く」と答弁した。堀金学校給食センターの廃止問題について出された意見は、廃止反対しかなかったことを踏まえれば、廃止案は次回説明会には出さないと考えてよいか。
 - (3) 教育長は「堀金学校給食センターを廃止するということを掲げて説明をしているわけではない」と答弁したが、第 3 案、第 4 案が堀金学校給食センター廃止案である。これはどういうことか。

提出順	16	発言順	16	令和 元 年 8 月 27 日
				午前・午後 11 時 28 分受領

(3 枚中No. 2)

令和 1 年 8 月 27 日

安曇野市議会議員 小松 洋一郎 様

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 1 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	
答弁を求める者	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☒ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 財政部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光部 ☐ 都市建設部 ☐ 上下水道部 ☒ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	学校給食センターについて		
(4) 教育長は、「学校給食は、センター方式による」「現在の給食センター方式を継続しつつ」と答弁したが、いずれも現在の 4 つの給食センターのことを指していると考えてよいか。 (5) 教育部長が、市民説明会は「市民に本市の学校給食センターの現状と食育の取り組みについて御理解をいただくために開催した」と答弁したことは、今後の説明会でも変わらないか。 (6) 教育長は、「全ての学校給食センターにおいて、常に子どもたちの意見や希望を聞いている。今後も学校給食センターと学校や児童生徒との双方向の交流、意見交換を続けていく」と答弁した。「子どもたちの意見や希望を聞く」、「学校給食センターと学校や児童生徒との双方向の交流、意見交換」の中身は、子どもの現状を知ることになり、よりよい学校給食を作り、食育を進めるための議論のためになくはないものとするが、いかがか。 (7) 次回の市民説明会に提出される資料については、「子ども・学校、給食センター、農家(食材生産業者)の 3 者が相互に関わり合ってより良い給食をつくり、豊かに食育を進め、地産地消を推進する」立場で作成してもらいたいと思うが、(2)の教育長答弁の「データ等をそろえ」に関わって、どのような資料を準備しつつあるのか。 3 学校給食センターについては、慎重に進めるべきであって、急いで進めるべきではないと考えるが、どうか。市民説明会等の今後の予定を伺う。			

提出順	16	発言順	16	令和 1 年 8 月 27 日 (午前・午後 11 時 28 分受領)
-----	----	-----	----	--

(3 枚中No.3)

令和 1 年 8 月 27 日

安曇野市議会議員 小松 洋一郎 様

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 1 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	
答弁を求める者	☐ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☐ 総務部 ☒ 政策部 ☐ 財政部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光部 ☐ 都市建設部 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	公共交通について		
質問の要旨 (具体的に記載してください) 広報あづみの 296 号掲載の奥山修司氏 (市地域公共交通会議兼協議会幹事長) の文章について「デマンド交通『あづみん』のこれまでとこれから」の文章について 1 「『あづみん』導入の成果の一つとして、運転免許の返納が増えたことが挙げられる」とある。どのようなデータに基づいてこのようなことが言えるのか。 2 「運転免許返納者に 9000 円分のあづみん乗車券をただ交付するだけでなく、スムーズに『あづみん』利用者になっていただけるよう、支援の方法を検討している」とある。どのような方法が検討されているか。 3 「公共交通は走れば走っただけ赤字になります」とある。市が行っている公共交通政策は、民間の事業とは違うと考えるが、このような見解について市の考えを伺う。 4 「今年度行っている市地域公共交通協議会の部会では、要望のあった巡回バスについても検討しています」とある。どのような検討がされているか。 5 「乗降の多い店舗への広告依頼や市民サービスと組み合わせて年会費を納めていただくなど、新たな展開も必要だと感じています」とある。どのようなことか。			